



ぼらんていあ通信

10月号
通巻 No.479

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年10月26日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamivainfo/



今年のほかほかふれあいフェスタは

あじさい会館1階ロビーで展示を実施!

令和3年10月10日(日)〜16日(土)まで

障がい者団体やボランティアグループの活動を工夫を凝らした展示物で紹介

今年はいよいよ新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言下の中で、通常の「ほかほかふれあいフェスタ(通称ほかふれ)」は実施できないが、何かできることをというこで、ほかふれに係わっている障がい者団体や、ボランティアグループなどの活動と、今年ステージなどに参加予定だったグループの活動ぶりを伝える展示会を、あじさい会館1階ロビーで開催した。

展示物前の机に消毒液が鎮座しているのが、コロナ禍のご時世とわかるだろう。残念だったのは、今年のポスターが、折角若者サポートステーションの皆さんのお骨折りによりできた素晴らしいものだっただけに、活用できなかったことは悔やまれる。
*ステージなどに参加予定だった方々は、よさこいチーム「絆」や手話ダンス「花言葉」さんを始め、8団体。
*障がい者団体の紹介コーナーでは、創設30年の相身連(相模原市身体障害者連合会)、知的障がい児者のための福祉向上を図る(社)団「手をつなぐ育成会、昭和63年設立のNPO法人れんきょう(相模原市障害児者福祉団体連絡協議会)など、13団体を紹介。
また、神奈川県フィットセンターや要約筆記サークルもみじの紹介、県立相模原養護学校高等部



こんな風にパネルに展示



これぞまさしくコロナ禍の証跡! ヘルプマークも「私を知って」とアピール!



県立相模原養護学校高等部1年生の作品折り染め・・・カラフルで明るく!

*写真は5ページにも掲載してあります。



活動の様子がわかりやすく写真も載せて!



(山崎)

1年生の「折り染め」や相模原市中心の輪を広げる体験作文及び障害者週間のポスター入賞作品集などが展示してあった。

大賞理事退任のお知らせ
会長 高橋 功
大賞理事が自己都合により9月30日付で市社協を退職されました。それに伴いボラ協理事も退任され、ボラ協の理事は7人となりました。定款上は6人以上となっているので2022年の総会までは7人でいきたいと思っています。市社協からは福祉推進課 市民活動係長の阿部真由美さんにオプザーバーとしてご出席頂く事となりました。大賞様には長い間いろいろのご援助頂き有り難うございました。これからもお元気で過ごしてください。阿部係長にはこれからいろいろご指導のほどよろしくお願ひいたします。
話は変わりますが、コロナ禍は緊急事態宣言解除後、減少傾向にあります。が解除後の夜間の人出は3割近く増加し、1人の感染者が何人感染させるかという「実効再生産数」は9月末0.59人が、10月9日時点で0.66人になっており専門家は再拡大の懸念を示しています。会員の皆さん!この2年間実行してきた「感染させない感染しない」を忘れずに努力していきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。
*大賞さんと阿部さんからいただいたご挨拶は、5ページに掲載しています。

お仲間

新ボランティア協会会員の紹介

今年度ボランティア協会に入会され、ハンディキャップ運転を始められた二人の方に直接お会い出来ない状況の中、質問形式できっかけなご色々お伺いしました。

伊藤達也さん



＊ハンディキャップ運転ボランティアを始めるときはどのようなことでしたか？

＊「あじさい」のドライブ

＊「あじさい」のドライブ
バー業務を通じて、重度の障がいを持つ方と身近に接する機会を持った事から「あじさい」の事業が終了した後も利用して頂いた方々に書きたいと思いついたのです。

＊いつから始められましたか。他にもボランティアをなされていますか？
＊6月に登録して7月から活動しています。現在はハンディキャップ運転のみですが以前は「ホームレス」の支援活動や視覚障がいの誘導ボランティア等もついででした。

＊ハンディキャップ運転をやってみようですか？
＊まだまだ経験不足でもっと色々な方と出会いたいと思っています。

＊心掛けて頂く事はありますか？

＊「共に生きる」の心で「利用頂いている間は気持ちよく過ごして頂くための心掛けています。

＊ボランティア協会へ何か意見や注文などありますか？



＊事務局の15時終了というのが早いかなくとも思っています。17時迄が理想ですが16時迄迄いてもらえたら有難いです。

倉島勝治さん



＊ハンディキャップ運転ボランティアを始めるときはどのようなことでしたか？

＊ボランティア協会の方がらのお誘いで、車いすや足の不自由な方の移動サービス支援はこれからの高齢化社会には必要だと思っていました。お金だけで解決する社会からお互いに助け合う社会になると考えます。

＊いつから始められましたか。ほかにもボランティアをなされていますか？

＊始めたばかりで、まだ3回しか運転ボランティアをしません。他のボランティア活動はバールンやマシクを子供会や高齢者施設にて披露したり、災害ボランティアで一昨年は津久井地区にも行きました。スポーツではトリアスロン審判ボランティアでパラリンピックのボランティアもしました。

＊ハンディキャップ運転をやってみようですか？

＊講習は受けているのですが、車いすの固定などご利用者に教えるもらいながら、申し訳ないと思います。新米なので協力をお願いいたします。運転はあんせん運転なので大丈夫です。慣れないために家に帰るとかなり疲れています。

＊心がけて頂く事はありますか？

＊車いすと同じ空間に居るのでなるべく楽しく気を使わないようにしたいと思っています。また、いま



11月の記念日は？

小倉義男

11月3日、ハンカチーフの日
夫のルイ16世に「ハンカチーフは正方形にすべし」という政令を出させたマリー・アントワネットの誕生日（11月2日）に近い祝日を選んで、日本ハンカチーフ連合会が1983年に記念日を制定。自分の好みでハンカチーフは正方形にすべしと言って夫に政令を出させてしまうマリー・アントワネット恐るべし。



小倉画

＊ボランティア協会へ何か意見や注文などありますか？
＊移動サービスの将来を考えると50～80kgの方を1000kgを超える車での移動はエネルギー効率が悪いです。国内や道路事情の良いところにもありますが、ヨーロッパで普及しているペダクシー（高性能な自転車タクシー）やシクロポリタン（電動アシスト三輪自転車）など3人乗り自転車の活用も選択肢の一つですね。安全でゆっくりとした移動と排ガスを出さず運転者の健康も兼ねる工夫も必要と考えます。まだまだ日本では自転車の肩身は狭く、道路事情やインフラ整備が必要ですが、
お一人の人数や思いはいろいろ聞きたいことがありました。これから有意義な活動をお続けください。（植野）





カフェで作業する利用者の美乃里さん(左)と職員さん

次に3階へ。
 ここにも作業室が3つあり先ほどの寿司屋さんのハシと醤油トシイを人数分に

10月8日(金) 気持ちの良い秋の陽気に恵まれた午後 広報委員二人でおじゃましました。
 淵野辺から上溝へ向かう道の星が丘3丁目信号の近く、通りに面してカフェピッコリーナののぼり旗が見え、少し奥に入った所にカフェの看板が見えました。事務室へ回ると午後のゆったりとした雰囲気か回えます。さっそく3階から案内して頂きました。3階は作業室一つとハーブティーの部屋があります。1、2、3と部屋ごとに番号の付いた札が入り口に掛かっています。利用者さんが作業室を分かり易くするための配慮なのだなと感じます。ここでは寿司屋さんのチフシの中にさらにチフシを挟み込む作業。また別の作業室ではハーブティーのブレンド。それぞれの8種類のハーブを細かくハサミで刻んで、ブレンドして袋詰めしています。作業に楽しく取り組めるよう作業室を移動して作業内容の異なることが出来るように工夫しているそうです。このハーブティーはあじさい会館のバオバブでも販売されています。



ボランティア活動グループ訪問記
 星が丘にある福祉事業所ピッコリーナ

対応のよう何種類かにセレクトしています。別の作業室では作業の終わった二人の人がぬり絵などをして楽しんでいました。
 作業にあたるのは1グループ平均7名。全員で29名います。職員は20名。次は1階へ。ここは食堂で調理室とカフェエソとして事務室があります。食事は2班に分かれて食べているそうです。食堂でお茶を頂きながら、所長の中田美生さんに改めてお話をうかがいました。

開所は平成24年、今年で9年目になります。もとは上溝にあり引越してきたそうです。仕事をしてお給料をもらい好きなものを買ったりご家族にごちそうするのを楽しみにされている利用者さん多いです。20才から50才ぐらいまでの人が作業に従事しています。通所はグループホームに住みながら送迎車を利用する人、自力で通う人、自宅から通う人、すこし遠くて藤野から通ってくる人もいます。長く続けて働いていて24~5年という人もいます。

カフェのメニューにあるピザ、スパゲティ、シフォンケーキ作りなども利用者さんと一緒に行っています。作業は個人の希望や特性に応じて選べるようになっていきます。外部作業としてマンションの清掃なども行っています。

最後に名前の「ピッコリーナ」とはイタリア語で「小さくてかわいい」という意味で、「小さくても地域できらりと光る施設を目指します。働くことを通して社会のかかわりを深めます」と伺いました。
 土曜日、日曜日はお休みですが、カフェは月・土曜日まで開いていて日曜日と祝日が休みになります。お近くの方は一度ぜひ。(杉崎 植野)



Facebook を開設しました!

広報委員会情報部会では、ボランティア協会のホームページを見やすくしたり、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の一つである、Facebook(フェイスブック)を新たに開設しました。

ホームページやフェイスブックに、ぼら通の内容のほか、動画やカラー写真も掲載しています。ボラ協主催、ボラ協も携わっている事業の「いまの時間の様子」「つい最近の様子」などを掲載し会員の皆様はもとより、相模原市内から県内、国内、海外(!)の関心のある方に、紙媒体では伝えきれない、ボラ協の魅力を多くの方に知っていただければ、と思っています。

ホームページ・フェイスブックともに「相模原ボランティア協会」で検索をするとボラ協のホームページを見ることができます。フェイスブックがはじめての方は、パソコンやスマートフォンで「フェイスブックアプリ」のダウンロードが必要です。無料。アップストア(Appストア)やプレイストア(Playストア)から。お名前を入力などがあります。

しぶや ひさみ 渋谷 久美

カフェ入り口にあるウエルカムボード



*社会福祉法人
 県央福祉会ピッコリーナ
 所長 中田美生
 〒252-0238
 相模原市中央区星が丘
 4-16-16-1
 ☎042-786-6086

理事会報告



10月9日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一、報告事項

◆連絡事項

- ・大貫理事が9月30日付けで退任、代わりに阿部氏(社協)が今回以降オブザーバーとして出席。

◆広報委員会

- ・ボラ通10月号10月25日印刷、26日発送。
- ・情報部会にてフェイスブックを開説。

◆総合企画委員会

- ・メンバーはDVD制作実行委員会メンバーと一緒に、検討事項は「40周年記念事業」並びに「ボラ協の今後の在り方」。

◆ハンディキャップ委員会

- ・年度末迄にセタン活動燃料費の見直しを実施。
- ・ハンディキャップ関係者交流会をコロナ感染状況を見て、実施を検討。

◆傾聴委員会

- ・緊急事態宣言下では、コロナワクチン接種者が訪問するようになっていた。最近希望者が増加。

◆講座検討委員会

- ・春講座「新しいボランティアのかたち」について案内チラシを配布し、説明。

◆その他

- ・ほかふれ実行委員会
- ・ほかふれあいフェスタは10月10日からあじさい会館ロビーにてパネル展示。
- ・障害者週間キャンペーンは11月27日に実施。

- ・DVD制作実行委員会
- 「団体PR動画制作講座」に参加。

二、審議事項

- ◆来年の通常総会日程の検討
- ・5月22日(日)「あじさい会館6階展示室1及び2で開催を決定。

◆新春ボウリング大会

- ・開催を前提として今後の取り進め方を承認。

【次回理事会 11月13日(土)10時より】

相模原ボランティア協会 11月の予定

日	時間	内容
7(日)	10:00~	HC委員会
8(月)	10:00~	DVD制作実行委員会
10(水)	14:00~	講座検討委員会
13(土)	10:00~	定例理事会
20(土)	13:00~	事務局委員会
	15:00~	情報部会
24(水)	13:00~	ぼら通11月号印刷
25(木)	13:00~	ぼら通11月号発行



Twitter

ぼらんていあ通信版
ツイッターコーナー
初めてのズームミーティング

杉崎 久子



十月で事務局委員としてやっと二年。まだまだ失敗が多く、その度に諸先輩を右往左往させています。協会の活動の広さと歴史を改めて知るこの頃です。

さて、先日友だちとズーム会議をすることになりました。以前はおいしいお店を探してはランチタイムにお喋りの花を咲かせていた仲間ですが、「この年はコロナ禍で思うように集まらず、ラインでのやりとり。でもやはり顔を見たくなるものですね。一人はお孫さんの顔を見るために、一人は日本語ボランティアで講師をするためにズームを始めたこと。私は全くの初心者ですが、友だちの「ほちつと簡単よ〜」の言葉にウキウキ約束の日を迎えました。

部屋を片づけ、久しぶりにきつちのメイクをして着替え…招待メールの直前までパソコン画面や音声の調整に追われ、メールを「ほちつと」クリックしたのですが、繋がらないどころか、英語のサイトに迷い込み大慌て。友だちと電話で連絡を取り合い、画面をあれこれ操作すること十分とつにか繋がりました。対面できただけでも大喜びだったのですが、三人以上は友だちも初めて。映り具合、画面の並びなどもほちつと試し、年を忘れてはしゃぐ楽しいひとときでした。全員繋ぐまでが大変とは聞いていましたが、小学生も使いこなす今時のツール。意外にイケると臨んだ2回目のズームは、定刻にサッと始められました。ただ「なぜ今日はすぐ繋がったの?」が話題の中心に…(笑) 試行錯誤が面白く、つらつと楽しんでました。



前理事の大貫さんとオフザバーの阿部さんからみなさまへ

大貫 栄

阿部 真由美

この度、ボランティア協会無任所理事を退任する運びとなりました。高橋会長はじめ、理事の皆様、あじさい会館に詰めこられた会員の皆様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

2019の年度より2020年のか月の間理事を拝命しましたが、理事の皆様での意見交換等を通じて、ボランティア協会に対して、成熟した温かみを感じてまいりました。

特に昨年来のコロナ禍にあって、まだ情報の少ないうちから、ハンディキャップ運行をどうしようか、傾聴活動に伴うリスク回避はどの程度の対策があるか、ユーザー中心の検討を重ねながら、歩み止めの取り組みを可能な限り工夫しつつ取り組んでまいりました。私がこのご紹介するまでもなく、ボランティアセンター職員とともに企画した「Zoom講座」「在宅作業で発行された「ほらんていあ通信」無観客セミナー」発表を動画配信した「ほかほかふれあいフェスタ」「ボランティア協会PR動画作成」などが挙げられます。悩みながらもめきめき進まない熱意と使命感に尊敬の念を覚えました。

コロナ禍に加え、市の財政困難から助成金カット等の困難の中ではありますが、これからも、奔走している市社協職員と手を携え、ともに地域福祉の向上に、お互いの顔が見える地域づくりを目指し、会員おひとりお一人の力を楽しみながら発揮されることを願ってやみません。私も今後は一市民として、少しでも何らかのボランティア活動を始めていこうと思っております。

ボランティア協会の今後お母さんの発展と会員の健康をお祈り申し上げます。御中の挨拶をいさごうです。

はじめまして。相模原市社会福祉協議会福祉推進課市民活動係の阿部真由美と申します。このたび、オフザバーという形で相模原ボランティア協会さんに加わらせていただくことになりました。よろしくお願いたします。

市社協に入職後、現在に至るまで、ふれあいサークル、ファミリー・サポート・センター、子ども食堂や無料学習支援等子ども居場所への、ボランティアセンター、地区社協の支援等の事業に携わらせていただきましたが、いずれの事業も市民活動や住民活動として、たくさんの方々によって支えられており、私自身、業務を通じて活動者の皆様との数々の出会いがありました。

「活動に参加したきっかけ」「活動の原動力」等、一人ひとりの温かい（よき）熱意（思い）やお気持ちに触れることができたことは、かけがえない経験となっております。

市民活動係の窓口には、さまざまな思いを抱き、「活動に参加したい」と足を運んでくださる方、「今、何か始めたい」と意を決してメールをくださった方もいらっしゃいます。一人ひとりの思いを丁寧に取り止め、大切にしていきたいことが社協職員としての使命だと感じています。今後、ますます市民活動の輪が広がるよう、微力ではありますが、ボランティア協会の皆様とともに進んでいければと思います。

よろしくお願い申し上げます。



お知らせ

さがみはら地域ポータルサイトの市民団体ホームページにボランティア協会とほかほかふれあいフェスタをお仲間に入れていただきました。

*ボランティア協会

<https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10137/>

*ほかほかふれあいフェスタ

<https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10136/>

*覗いてみてくださーい。



ほかほかふれあいフェスタ

よく工夫された要約筆記の活動紹介

若者サポートステーションの皆さんに作成してもらったポスター

楽しく見て読めるよう工夫されて!



ボランティアさん募集！ 施設利用者の活動サポート

- 内容 施設利用者（身体・知的・精神障がいのある方）との交流を楽しみながら、布製品製作をサポート（藍染め・マスク作り等）
※どなたでも参加可能ですが、特にミシンの扱いが得意な方、大歓迎です！
- 日時 月曜日～金曜日で、①②のうち都合の良い時間帯
①午前10時～正午 ②午後1時～3時 一日あたり1～2名募集
※年末年始や祝日の場合は、お休みです。
- 場所 一から百まで堂・障がい者の日常生活支援（中央区相生4-13-5）
- 持物 染物作業等もあるため、汚れてもよい服装



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181
 FAX 042 (786) 6182
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に
使わせていただきます。

<9月の寄付者>

3名の方からご寄付をいただきました。

<9月の寄付金>

総額 27,000円でした。



《 今月のイベント
…公園もすすきの秋ですね 《

山口尚美画

編集後記

今朝（10月21日）も寒く、我が家近辺の最低気温は10.0℃、最高気温は18.0℃でした。
 今年の今迄の最低気温は1月20日の氷点下7.0℃、最高が8.0℃でした。最高気温は8月10日の最低25.0℃、最高が37.0℃でした。
 最近の気候は春から夏、夏から秋にかけての身体に適する期間が短いような気がします。寒い時期到来です。
 (勝)

寄付のお願い

◆◆寄付者は税制面での優遇措置を受けられるので、寄付金額控除制度の活用を◆◆
 口頭、当協会の活動に協力いただきました皆さまの御礼です。
 ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開してまいります。皆さまの御支援をよろしくお願い申し上げます。
 12月までに寄付をしていただく今年分の確定申告（来年2/3月）に間に合います。
 詳細は、当協会に問合せ下さい。
 *認定NPO法人
 相模原ボランティア協会
 電話 042-759-70002

会員の皆様にはゆづり銀行の払込取扱票（手数料協会負担）を同封しますので、よろしくお願ひいたします。

